

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>上位目標「首都キガリの人々の雇用および収入創出の機会が増大する」の実現に対し、3年計画の1年目である今期は各事業内容を着実に実施することで基盤を整えた。</p> <p>フェーズ1終了時点で、10ヶ月の訓練期間中に習得した技術により、訓練生ら全体で2,374,000RWF(約356,100円)の収入があり、これまで収入がほぼ皆無であった訓練生が一人あたり平均約49,458RWF(約7,418円)を得ることができた。ルワンダの個人独立テーラーは1着洋服を仕立て、シャツやパンツで約5,000RWF(750円)、デザイン性のすぐれたドレスなどで20,000RWF(4,500円)の工賃を得ていること、またルワンダ警察官の初任給が月額手取り30,000RWF(約4,500円)程度であることを考えると、訓練期間中からも微力ながらも収入が創出できた。</p> <p>修了生はルワンダ教育省、職業開発庁、ガチュリロ職業訓練センターの協力により、ルワンダの有名大手縫製工場や大手アパレル会社など合計3社に分かれ現在2ヶ月間の企業内実習(Industrial Attachment)に参加している。</p> <p>また修了生の中でも特に優秀な6名を本プロジェクトフェーズ2洋裁アシスタントとして雇用し、雇用および収入の機会と同時にさらなる技術研鑽の場も提供している。</p>
(2) 事業内容	<p>(ア)工業用電動ミシンを投入する。</p> <p>(イ)高度な日本の洋裁技術習得訓練を実施する。</p> <p>(ウ)現地洋裁専門家へのTOT: Training of Trainer</p> <p>(エ)ミシンメンテナンス講習</p> <p>(オ)ビジネス強化ワークショップ</p> <p>①市場調査・マーケティング講習</p> <p>②起業家講習</p> <p>③プロダクション・ユニット設立講習</p> <p>④組合設立講習</p> <p>(カ)made in Rwanda 製品開発実習</p> <p>(キ)三カ国語併記洋裁テキストブックの製作</p> <p>(ク)適切なモニタリング・評価の実施</p> <p>(ケ)修了式および製作披露発表会</p>

(ここでページを区切ってください)

<p>(3) 達成された成果</p>	<p>成果 1 高度な洋裁技術を習得した人材が育成された。</p> <p>指標 1-1 開始時訓練生数 52 名中、92%にあたる 48 名が訓練を修了した。(※4 名は大学進学や病気、家庭の事情により自発的に途中で訓練を辞退。)</p> <p>指標 1-2 訓練修了時、訓練生全員の洋裁技能レベルが、5 段階レベル評価の 4 以上に達した。</p> <p>(洋裁技能レベル基準)</p> <p>レベル 5 : 製図に寸分たがわず縫い上げることができる。柄合わせがきちんと出来ており、仕上がりがほぼ完璧である。</p> <p>レベル 4 : 指示通りには縫製ができるが、細部に渡る配慮が足りないために仕上がり完璧ではない。</p> <p>レベル 3 : ある程度指示通りに縫い上げることができる。</p> <p>レベル 2 : 指示通りに縫製ができず、ミスの多い状態で仕上がってくる。</p> <p>レベル 1 : 縫い上げるまでに生地を傷付けてしまう等、ほぼ修復不可能な状態で縫い上がってくる。</p> <p>成果 2 made in Rwanda 製品が開発された</p> <p>指標 2-1 ルワンダの伝統生地「ギテンゲ」より、以下 4 点のオリジナルアイテムが新規開発された</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ギテンゲワンピース 2.ギテンゲイージーパンツ 3.ギテンゲアロハシャツ 4.ギテンゲロングドレス <p>指標 2-2 開発製品の評価が5段階評価レベルの最高評価5を得た。</p> <p>(評価レベル基準)</p> <p>レベル 5 : 品質、デザイン上、海外(先進国)市場で流通できる。</p> <p>レベル 4 : 品質、デザイン上、ルワンダ中流階級以上をターゲットに、ルワンダ市場で流通できる。</p> <p>レベル 3 : デザイン面あるいは品質両面で、再考慮の必要があるもの。</p> <p>レベル 2 : デザイン面および品質両面で、再考慮の必要があるもの。</p> <p>レベル 1 : ルワンダローカルマーケットで現在流通している商品</p> <p>その他派生効果として、1994 年のジェノサイドで家族を殺され、孤独を感じ、人生に希望もなく笑うこともなかった生徒が、本訓練を通じ、仲間を作ることが出来、笑顔も見せ始めた。技術を取得することで人生を変えることができると同時に人生に対する希望と意欲も持つことができるようになった。</p>
--------------------	---

(4) 持続発展性	<p>ルワンダ教育省(Ministry of Education Republic of Rwanda)主導のもと、教育省直轄の職業開発庁 (Workforce Development Authority)、キガリ市 (City of Kigali)、当会との間で、本事業に対するさらなる協力およびルワンダのその他の地域にも本事業モデルを拡大していくという覚書が結ばれた。</p> <p>覚書内では、職業開発庁が1年目修了生のためのさらなる技術研鑽の場としてインキュベーションセンターを開設すること、また現在事業を実施しているガチュリロ職業センターが中心となり、3年の本事業終了後も継続して本訓練を実施すること、修了生らが製作する洋服を今後販売する店舗開設に対しキガリ市が協力することなどが明記されている。</p> <p>引続き現地カウンターパートらとのコミュニケーション、連携を深めつつも、さらなる発展を目指し、事業を継続していく。</p>
-----------	---